

ONE EARTH GUARDIANS

地球は2つない。

地球からまなび、
地球を守る

私たちは自分たちの豊かな生活のために、
これまでいっただけだけのダメージを
地球に与え続けてきたのでしょうか。

一〇〇年後、人類が地球上の
あらゆるものと共存していける
世界を作るために必要な人材。

それは一人の天才的な専門家ではありません。
自らも専門家でありながら、

俯瞰的な視点で人を結びつけ、
新しい価値を創造することのできる

「巻き込み力」を持った科学者です。

東京大学大学院農学生命科学研究科ではそれを

「地球医＝One Earth Guardians」

名づけ、彼らを育成する

プログラムを立ち上げました。

「地球医学＝One Earthology」の誕生です。



One Earth Guardians 育成プログラム

豊かな生活を求める人間の活動は、たったひとつのかけがえない地球 (One Earth) に大きなダメージを与えてきました。人類の生存のための産業活動と環境保全 – 矛盾するこれらをどう両立させていくのか。私たちは、生物として 100 年後の地球に何ができるか。生物の共存共生と利用を目指す「実学」としての「農学」の原点に立ち返り、これらの課題に取り組む「One Earth Guardians(地球医)」をうみだすための、新しい教育プログラムが始まりました。

【アドミッション・ポリシー】

- ・現在の地球が抱える問題に危機意識をもち、その課題解決に取り組む科学者になる熱意を持つ人。
- ・国際感覚を身につけ、他者を尊重しながら連携し、柔軟な思考力をもって課題を解決しようとする意欲を持つ人。
- ・自らの専門性を活かしつつ、同時に広範な学問分野を俯瞰し、サイエンスの相乗効果に結びつける力をもつ人。

【カリキュラムポリシー】

以下の3つに分類される科目の履修を通して「持続可能な開発目標(SDGs)」の課題を多面的に理解し、社会全体による課題解決につなげるリーダー、すなわち One Earth Guardians (地球医)を育成します。

〈基礎地球医学〉

環境・農・生物資源という、互いに密接に関わる農学の課題を俯瞰し、有機的に繋げる基礎力を育む。

〈応用地球医学①〉

農学=実学を体現するため、社会との関わりの中で課題発見力と課題解決力を育む。

〈応用地球医学②〉

地球医学の研究成果を効果的に社会に還元し、社会全体が課題解決に主体的に参加する仕組みにつなげる発信力を育む。

【One Earth Guardians 認定要件】

各専修・専攻の卒業・修了に必要な単位の他に、次ページの表に示す必要単位を取得すること。および、One Earth Guardians 育成機構が企画する、外部講師による講演やディスカッション型セミナーなどの、講義科目以外のプログラムのアクティビティに参加すること(詳細は 2022 年 4 月にアナウンス予定)。

- ・教養学部2年次 A1~W タームに取得した単位(表中、★の付いた科目が2年次に履修可能)を、認定のための単位に加算することが可能です。
- ・プログラム認定科目の単位は、各専修・専攻の規程に従い、卒業・修了単位に加えることもできます。
- ・プログラム受講にあたっては、大学院進学を想定しています。

【受講生(5期生)の募集について(予定)】

対象： 東京大学大学院農学生命科学研究科・農学部に所属する学生

定員： 最大 20 名

募集： 2022 年 4 月

選考： 提出された作文による書類選考後、面接を行います。

詳細は、今後、本プログラム web サイト (<https://www.one-earth-g.a.u-tokyo.ac.jp/>) やパンフレットなどで案内します。

One Earth Guardians 育成プログラム認定科目一覧と必要単位数 (2021.4 現在)

《 》内に示す各科目分類の必要単位数以上の、計36単位以上を取得すること。

科目分類	科目名	単位数	開講ターム	講義区分
基礎地球医学(総合) 《7単位》	農学現象の数理科学的理解	2	S1SP	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
	人口と食糧	2	A1A2 ★	農学総合科目(学)
	農学リテラシー	2	W ★	農学共通科目(学)
	農学ライフサイエンス研究倫理	1	S1	研究科共通科目(院)
基礎地球医学(環境) 《4単位》	生態系の中の人類	1	A1 ★	農学総合科目(学)
	土壌圏の科学	2	A1A2 ★	農学総合科目(学)
	水の環境科学	2	A1A2 ★	農学総合科目(学)
	環境と景観の生物学	1	A1 ★	農学総合科目(学)
	森林環境科学汎論	2	A1A2 ★	農学基礎科目(学)
	生物多様性科学	2	S1	課程専門科目(学)
	生物海洋学	2	A1A2	課程専門科目(学)
	放射線環境学	2	A1A2 ★	農学総合科目(学)
	環境経済学	1	S1	課程専門科目(学)
	環境科学	1	A2	課程専門科目(学)
基礎地球医学(食) 《4単位》	食の安全科学	2	A1A2 ★	農学総合科目(学)
	農業資源経済学汎論	2	A1A2 ★	農学基礎科目(学)
	食と人間 / 食の科学ゼミナール I	2	S1SPA1	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
	食と健康システム演習 / 食の科学ゼミナール II	1	S1SP	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
	国際農業と文化ゼミナール	2	SP	研究科共通科目(院)
基礎地球医学(生物資源) 《4単位》	化合物の多様性と生理機能 I	1	A1 ★	農学総合科目(学)
	化合物の多様性と生理機能 II	1	A2 ★	農学総合科目(学)
	バイオマス利用学概論	1	A1 ★	農学総合科目(学)
	森林資源と木材利用	1	A2 ★	農学総合科目(学)
	生物素材化学概論	2	A1A2 ★	課程専門科目(学)
	バイオマス利用研究特論 I	2	S1SP	研究科共通科目(院)
	バイオマス利用研究特論 II	2	S1SP	研究科共通科目(院)
基礎地球医学(動物) 《2単位》	動物生理学	2	A1A2 ★	農学基礎科目(学)
	動物生態学	2	A1A2 ★	農学基礎科目(学)
基礎地球医学(植物) 《2単位》	植物生理学	2	A1A2 ★	農学基礎科目(学)
	植物生態学	2	A1A2 ★	農学基礎科目(学)
基礎地球医学(微生物) 《2単位》	基礎微生物学	2	A1A2 ★	農学基礎科目(学)
	微生物生理学	1	S1	課程専門科目(学)
	微生物生態学	1	A2	課程専門科目(学)
応用地球医学① 《6単位》	ワン・アソロジー I	2	通年	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
	ワン・アソロジー II	2	通年	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
	ワン・アソロジー III	2	通年	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
応用地球医学② 《5単位》	サイエンスコミュニケーション	1	W	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
	サイエンスコミュニケーション演習	1	SP	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
	Basics for Science Communication in English	2	SP	農学展開科目(学), 研究科共通科目(院)
	Writing a Research Proposal	2	S1SP	研究科共通科目(院)
	Writing a Research Article	2	A1A2	研究科共通科目(院)

★, 農学部における2年次開講科目。教養学部2年次 A1~W タームに履修可能。

(学), 学部開講講義

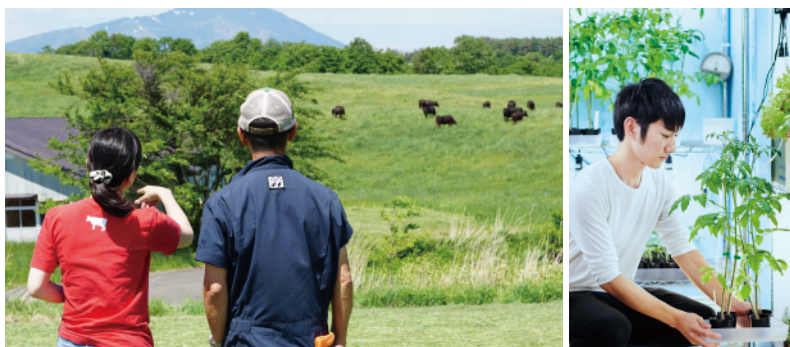
(院), 大学院開講講義

プログラムにおける活動の例

実学研修

社会とのかかわりの中で学ぶことを通し、多様な視点を身につけるとともに、課題を発見する力と、サイエンスを活かした課題解決につなげる力を培うことを目指しています。企業やNPO、省庁などの様々な現場に一定期間赴き、実課題に取り組みます。

(応用地球医学①「ワン・アースロジー I・II・III」において実施します。)



One Earthology Seminar

100年後にどんな地球に生きていきたいかを思い描きながら、そこに向かって私たちは何をしていくかを、学び、話し、考える One Earthology 協創の場として開催。学生と教員、企業等の方が同じテーブルにつきディスカッションを行います。時にトレードオフにもなる多様な視点をふまえ、One Earth Guardians としてどんな提案ができるのかを考え、課題解決に取り組むきっかけとなることを目指します。



LUC Lecture

LUC には「光」という意味があります。講師の話聞き、対話することで、これまで見ていなかったこと・知らなかったことに目を向け、考える「=光をあてる」ための学びの場として開催。学外・学内の講師を迎えた講演と、質疑応答を行います。

O to 1 Workshop

リーダーシップや巻き込み力を育むための一連のワークショップ。プレゼンテーションやファシリテーションのスキルなど、人に伝え、人から引き出すための基礎力を身につけるワークショップや、ゼロからイチを創りだした起業家の方の実体験を活かしたワークショップを随時開催します。

問い合わせ先

One Earth Guardians 育成機構
E-mail : office@one-earth-g.a.u-tokyo.ac.jp



WEBサイト



Facebook

2021 09